

(案)

令和 8 年 10 月 日

富士市長 金指 祐樹 様

富士市総合計画審議会
会長 阿部 郁男

第六次富士市総合計画後期基本計画案について（答申）

令和 8 年 3 月 23 日付け富総企発第 411 号をもって諮問のありました第六次富士市総合計画後期基本計画案について、慎重に審議を行った結果、次のとおり答申します。

記

本審議会は、第六次富士市総合計画後期基本計画案について、市長から委嘱されました市民や市民団体の代表者、学識経験者等の委員 30 名にて、これまで審議会を 4 回、分科会を 2 回開催し、様々な立場の委員が専門的な見地や市民目線から意見を述べ、活発な審議を重ねてきました。

審議に際しては、めざす都市像「富士山とともに 輝く未来を拓くまち ふじ」の実現に向けて、前期基本計画の期間において取り組んできた施策の状況やフジ 6 未来創造懇話会における意見を踏まえて議論を行いました。

また、急速な少子化の進行に伴う人口減少や、頻発化、激甚化する自然災害、物価高騰や企業等における人手不足などの課題に対応し、こどもたちの笑顔があふれ、若い世代が将来に希望を持ち、だれもが元気に生きがいをもって暮らしていけるよう、本市を持続可能な都市としていくための指針としての計画となっているのかを基本的な視点としました。

審議の結果、本計画案については、前期基本計画の取組を振り返り、現状と課題が的確に整理されているとともに、これらを踏まえ、7つの基本目標において今後 5 年間の政策の基本方針や、めざす未来の姿の実現に向けた具体的な取組が適切に取りまとめられていると認められます。

この結果、本計画案は、前述の視点に概ね即しているものと評価した上で、計画の推進にあたり、次に掲げる事項に配慮することを要望します。

- 大規模自然災害の発生が想定される中、災害への備えや消防・救急・救助体制のより一層の充実を図り、市民の安全を守る取組を積極的に展開すること
- 少子化が進行する中、こどもを大切にし、結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を行い、安心してこどもを生み、育てられるよう施策を推進すること
- 高齢化が進行する中、地域医療体制の充実を図り、健康づくりを推進し、誰もが地域でその人らしく暮らせるよう取り組むこと
- 富士山麓の豊かな自然環境の環境保全活動を進めるとともに、安全で持続可能な水環境を将来にわたり確保すること
- 生産年齢人口が減少する中、多様な人材が活躍できるよう支援し、中小企業等の経営基盤強化や新産業への参入、起業や企業立地の促進を図り、地域経済の活性化に取り組むこと
- 市内外の様々な人が富士市に関わりを持つとともに、市民が愛着と誇りを持つよう、本市の地域資源を磨き上げ、積極的に魅力を発信する取組を推進すること
- 利便性が高く、誰もが訪れたいと思う魅力あふれるまちなかの形成を図り、花と緑があふれ、安心して住み続けられるまちづくりを推進すること
- SDGs、デジタル変革、ウェルビーイングの視点を基本姿勢として、市民の幸福感や満足感を高めていくための施策を推進すること
- 計画書の最終的な取りまとめにあたっては、市民が未来の姿を想像でき、共感できるようなわかりやすく理解しやすい冊子となるよう工夫すること
- 本審議会の審議過程において、各委員から建設的な意見や提案があったことから、今後の実施計画や各分野の個別計画、諸事業の検討・実施にあたり、これらの意見等を十分踏まえて取り組むこと